

第一回アジア国立公園会議 ユース宣言（概要）

1. アジアの自然と文化

- ・アジアで培われた自然の中で生きるための様々な知恵を継承するため、保護地域などに伝わる伝統的な知識・経験の伝承・促進につながるプログラムが重要。
- ・地域の人々の保全への参加とオーナーシップの創出に向け、伝統的及び現代的な手法を統合するバランスのとれた取組みが必要。

2. 参加の促進と教育

- ・幼少期の自然体験は、持続可能な社会の実現に不可欠な想像力・洞察力・独創力を培う鍵であり、学校教育において、保護地域や自然について自然の中で学ぶ機会の増加が必要。
- ・保護地域の保全のためには、多様な関係者の参画が必要であり、そのためには、自然保護に直接関わっていない層への新しいアプローチが必要。

3. 雇用機会とキャパシティビルディング

- ・自然に携わる仕事に就く機会を増やすため、自然保護に関わる仕事の社会的認知の向上や所得水準の改善が必要。
- ・自然資源のワイズユースにより地域の活性化に貢献できる活動・ビジネスの創出・実施など、自然についての学問や活動を卒業後も継続・活用できる社会環境を希望。

4. ネットワーキング

- ・アジア国立公園会議のような、学際的・国際的なネットワーキングの機会の増加を期待。
- ・アジア国立公園会議で結成した、アジアの自然保護のためユースネットワークを活用し、ユースの貢献を社会に向けて発信。